

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	定員に対してゆとりのあるスペースを確保できている 適切。必要に応じてテーブルを移動させたりしている 児童福祉法に則ったスペースを確保しています。 急な体調不良者や、個別での支援が必要となった場合のことも考え、故実が用意されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	その日の利用者数に対し十分な人数を確保できている 決められた人員配置している 利用定員10名を預かるために必要な職員数を確保できています。 個別についても、全体を見られる体制ではある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	1	小さい段差があるが、テープを貼ることで分かりやすく示してある 児童様が主に過ごすスペース(活動スペース)から、トイレや手洗いスペースまでに6センチほどの段差があるため、黄色のテープで注意を促しています。 車いす利用の児童がいないため、段などはあるが、頬が必要な児童に対しては、横に職員が付くなど、安全には配慮している。
	4	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	参画している 日報に各児童の目標が書いてあり、朝礼・終礼時にその日の振り返りを行っている 朝礼、終礼に全職員が参加し、一人ずつ振り返りを行う事で日々の教務や療育に反映しています。 職員の異動がある際には、時間を作り、全員で共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	アンケートを拝見し業務改善につなげている 年に1回、アンケートを行い、いただいたご指摘に可能な限りお応えできるよう職員で共有しています。 評価表を配り集計しているが全体(指導員)もしっかり目を通す

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
業務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	公開している。ホームページに掲載する際はおたよりでお知らせしている ホームページに載せている。お便りなどにも一言添えて見てもらえるようにしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	0	市役所には定期的に指導を受けており業務改善につなげている 静岡市の実地指導の結果や集団指導の内容を事務室のパソコンにデータとして、相談室に書類として管理して、職員の意識に留まる工夫をしています。 指摘されたところは改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・週ごとに基礎知識、専門知識などの研修が行われている ・原則金曜の午前中には社内研修をしている。施設内研修も必要に応じて行っている 週に1回、金曜日の午前中に全職員が集まって専門知識に関するものやメンタリングについて研修を行っています。 会社内で週に一度研修を行っている。施設内や外部での研修も行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・職員全員がそれぞれ(の児童様に)S-M社会生活能力検査を行い、多角的に施設(で)の姿を分析し、家庭での姿と合わせて分析を行っている。 標準化されたアセスメントツールを使用し、児童様の状態像の把握に努めて計画の作成をしています。 アセスメントシートなどの記入、面談などを通して課題を明確にしている。保護者のニーズはもっと全体で共有していきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	保護者様と職員、さらに協力してもらえる学校の先生にS-M社会生活能力検査をモニタリング前に行ってもらおう。 S-M社会生活能力検査を用い、モニタリング等行っている。 当社顧問である山内心理士のもと、「Vineland-Ⅱ 適応行動尺度」と「S-M社会生活能力検査」を使用しています。

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
			5	0	0	
適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	レクミーティングを毎週月曜日に行い、レクの内容を共有、改善をレク係で行っている 活動プログラムのリーダーを中心に毎週ミーティングを行っている 管理者が目標の共有、職員が目標達成のための手法を検討し管理者と共有の上でミーティングを行っています。 リーダーを中心に作成しているが、ミーティングで意見や改善点を出し合い、全体で考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	(活動)担当も定期的に入れ替えて行っている。 新しい活動を適度に導入している。 多くのプログラムを用意し、児童が飽きることなく楽しみながら目標を達成できるように工夫している アセスメントのため、定期的に(月1回など)組んでいる活動や「誕生日会」以外の活動は、約300個の活動プログラムを独自に考案し、新しい発見を提供できるよう工夫しています。 継続したほうが良いものは固定しているが、毎日違う活動にし、飽きてしまわないように新しいものも取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	毎朝の朝礼、毎週のレクミーティングで打ち合わせをしている 休日や長期休みでしかない外出レクリエーションなど行うようにしている 休日や長期休暇では、普段介入しづらい食事場面等に対して支援が必要な児童様や、昼食の弁当で買い物をして練習しています。 どんなことを身につけたいか、短期長期など設定している。

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	時間でそれぞれを区切ることで1日でどちらにも対応できるようにしている。 個別での課題、集団活動をするにあたっての課題がそれぞれある。 集団活動から得られる学びと職員とのマンツーマン支援から得られる学びを必要に応じて組み合わせて計画を作成しています。 基本的には集団活動がメインではあるが、必要であれば個別で取り組んだりもしている。
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	朝礼にて行っている。 朝礼で活動の内容を共有し、役割分担などを共有している 朝礼での共有だけでなく、月曜日の午前中にはミーティングを行い、1週間分の集団活動の目的や手法を確認します。 職員全員で予定の確認、活動の流れの共有を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	終礼にて行っている。 終礼時に必ず一日の振り返りを行っている 終礼に於いて共有し、日誌において児童様の目標に対する支援の達成度を記入しています。 職員全員で、反省点や良かった点、改善点などミーティングの場で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	毎日日誌を記入し、その日の子どもの様子で気になる点や個別支援計画の達成度を記録している 連絡帳により日々の支援を保護者様と共有し、日誌にも記入することで翌日の支援に役立てています。 毎日、子ども達の様子などをまとめている。全員が目に入りやすい日報を記入している。

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
適切な支援の提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	モニタリング時に個別支援計画の見直しを行い変更の必要があれば変更もしている。 6カ月に1回モニタリングしている 最低でも6カ月に1度はモニタリングを行い、日々の送迎時保護者様からの情報提供をもとに計画の見直しをしています。 児発管がモニタリングを行い、内容を終礼で共有している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	0	0	平日休日の活動プログラムの提供、余暇の提供等行っている 自立・日常生活のための活動、創作・外出プログラムもあり行っている。余暇時間もそれぞれ夢中になれるものを提供しながら支援している。 自立のための支援や日常生活の充実のための支援を基本に、創作活動等も提供し、公園遊びなど、余暇(放課後)の安全な過ごし方も伝えています。 ガイドラインを確認している。オリジナル(特色にあったもの)もいれている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	管理者が参加している 児発管が参加している。内容も共有している。 原則、管理者や児発管が出席しております。後進育成のため、現場の指導員を同席させることもあります。 管理者が対応してくれているが、今後は誰でも対応できるくらいの力はつけていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	頂いた情報や変更点は必ず職員間でも共有している 保護者様を中心に行っている 一部の学校に理解を頂き、契約児童様の状態像を把握するために、当施設で使用している検査にご協力を頂いております。 プリントや担任とのやり取りで時間や、行事を確認している。担任とのやり取りをもう少し深くしていきたい。

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
関係 と機 の関 連や 携保 護者	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	2	3	現在必要としている子どもがいないため。 アレルギー等の情報は保護者様と共有している 医療的ケアが必要な児童はいない。契約時にかかりつけの病院の連絡先を聞いているので体制はできている。 医療的ケアを必要とする児童様とは現在契約しておりませんが、一部の児童様の主治医から診断経過や見立て等のアドバイスを頂いております。 該当者がいないため「いいえ」だが、そのようなやりとりがある場合は対応していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	1	新一年生がいないため今年度は行っていないが、新一年生が入所する際は行っている 情報共有する気はあるが、今年度はその必要がなかったため行っていない 新1年生を受け入れるにあたり、許可を頂けた保護者様から母園に関する情報を頂き、情報共有を行います。 新1年生がいないため、そのやりとりはないが、他のデイから様子や支援方針を聞くことはある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	2	3	現在移行した子どもがいないため 過去にあったが今年度はない 提供したことはないが、いつでも提供することはできる 一昨年A型事業所に就職された児童様に関する情報を提供しましたが、今年度は卒業生及び就職者がいないため行っておりません。 今年度は該当者がいないがそのような場合には提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	0	今年度は研修には参加できていないため、来年度は積極的に参加したい 受けている 外部での研修がある際は、参加し、内容をまとめている。

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
関係 と機 の関 連や 携保 護者	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	4	公園遊びや屋内施設等での活動において順番に並んだりという機会を設けている 児童館や児童クラブの交流はコロナの影響で行っていないが、公園などで同じ場を共有したりしている。 過去に実施しましたが、今年度は感染拡大防止の観点から行っておりません。 コロナウイルスの関係で今は実現できていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	0	4	議事録等の確認を行っている 議事録の確認はしているが、参加はしていない。 過去に参加しましたが、感染拡大防止の観点から今年度は参加しておりません。 積極的には参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	連絡帳と送迎時に行っている 送迎時に利用時の様子を伝え、学校や自宅での様子をうかがっている 連絡帳や送迎時に職員と保護者様で共有しています。 送迎時に子供たちの様子を伝え、家での様子や今後の支援の仕方など共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	5	0	0	連絡帳、送迎時、モニタリング時に行っている どのように活動を進めたか、支援について伝えている 連絡帳や送迎時、モニタリングの際に、あえるでの支援や関わりを紹介しています。 連絡帳や送迎時に伝えている。
保 護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	モニタリング、入所時に丁寧な説明をしている 契約時に説明している 見学時に支援や利用料金のご説明をしていますが、契約時に運営規定などに併せて支援や利用料金に関するご説明をさせていただいております。 見学の時点で一度お話をしている。

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	送迎時やモニタリング・面談時に助言や支援等できることを行っている モニタリング時にご家庭での困り事などを聞くこともありますが、送迎時にお話をして頂けることが多く、その時に伺っています。 個人的に対応できることはしているが、そうでないものは上に伝え、その後の助言や支援につなげている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	2	新型コロナの影響で行えず 毎年「くるら祭」を行っているが、2020年はコロナウイルスの感染拡大を鑑み開催ができなかったため、状況を見て開催方法を検討中 過去にBBQ等の案を頂いたことがありましたが、今年度は感染防止のため行っておらず、開催は未定です。保護者参加型の集団活動を企画していきます。 保護者参加型のイベント行事等でそのような場を作っていきたい。
保 護 者 へ	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	苦情の内容を共有し対応・改善を行っている 迅速な対応ができるよう体制を整備し、様々なご意見に誠実に向き合えるよう心がけています。 苦情があった際には対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	月毎に作成、配布を行っている 毎月「あえるだより」の発行・送付、1カ月の行事予定表の送付を行っている 月に一度「あえるだより」を発行し、契約者に配布しています。 週に一度ホームページにてブログを掲載しています。 月に一度、保護者向けのおたよりを発行し配っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	個人情報個別にファイルにまとめ厳重に管理している 個人が特定されないように、活動内容に対する情報発信を行っています。 配布物などは確認をし、十分に注意している。

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
の 説 明 責 任 等	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	目標が分かりやすい伝わりやすい行事予定表、おたよりなど意識し作成している 写真やイラストを使っている。 児童様に対しては、言語の実ではなくイラストを提示するなど実施しています。全国民に向けられる新型コロナウイルスに関する厚生労働省からのメッセージも、都度通知しています。 イラストを使って伝えてみたり、視覚的に分かりやすいようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	4	新型コロナの影響で行えず 地域住民の方を招待する行事は、コロナウイルスの感染状況や子ども達の状況を見て、可能であれば今後行っていきたい 過去に地域の朗読ボランティアを招くことはありましたが、感染予防のため今年度は行っておりません。 今はコロナウイルスの関係で行っていないが、今後考えていきたい。
非 常 時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	マニュアルの確認を職員間でも改めて行った コロナウイルス対策の研修を行った 各マニュアルある。契約時に保護者様に説明。職員も定期的に読んでいる。 すべてのマニュアルは契約時及び差し替えのたびに配布、周知し、事業所内の相談室及び活動室に刑事・管理しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか	5	0	0	定期的に避難訓練の活動を取り込んでいる 年に2回、地震や火災を想定した総合防災訓練と、風水害を想定した一般防災訓練を行っています。 火事や地震など様々な災害に対応できるよう訓練を行っている。

放課後等デイサービス評価表【令和2年度】

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
等 の 対 応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	虐待防止研修を行っている 週に1回、専門的な知識を学ぶ研修の中で、虐待防止について触れ、令和3年度には法人内に虐待防止委員会を設置する見込みです。また、職員を対象に虐待防止チェックリストを年に1回行っています。 虐待防止研修の他、定期的に研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	1	2	説明はあるが記載がない 身体拘束以外のアプローチで支援を行っている 契約時、説明している。 強度行動障害を有する児童様やその他行動上の問題から、身体拘束を必要とする場合に備え、個別支援計画に順次入力し、ご説明させていただいております。 身体拘束は必要ないと思うため記載はしていないが、説明はしている。
非 常 時 等 の 対 応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	2	現在利用がないため 食品を圧が売場合には材料を明記したおたよりを配布し、アレルギー等の確認を必ず行っている 契約時、アレルギーの有無を確認している。 現在、食物アレルギーのある児童様は利用していませんが、医師の指示書に基づいた支援や対応を心がけています。 今現在はいいないが、あった場合は対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	事例があった場合には書類を作成し必ず共有している 過去の事例はまとめて保管している 事務室のパソコンにデータとして保管し、事務室のパソコンの右側に書類として管理しています。 対応していた職員が作成しファイリングしている。終礼などでも共有している。